

【活動内容】智頭町の豊かな森を子育てに活用し、北欧発の「森のようちえん」を展開。1年を通じて智頭町の森の中で子どもたちの自主的な活動を重んじた保育を実践し、本格的な「森

【活動内容】八頭地域の活性化のため実施している「八頭ふさととかかし」「八頭軽トラ朝市」や八頭の代表的な果物「柿、

東京と日南町多里の交流に発展。東京都台東区谷中よみせ通り商店街で伝統芸能の披露や特産品の紹介などを通して都市と農村の交流事業を行っている。



映画「ふるさとがえり」の一場面

映画「ふるさとがえり」の監督

林 弘樹さん

話題の映画「ふるさとがえり」と呼び掛けた。監督の林弘樹さんが基調 林さんは全国で多くの地域講演した。林さんは「心の合 住民の共感を得て地域密着型に6年半かかった。さっさと、楽しんで心が動くように取り組まれ、市民らがる」と団結のポイントを指し、万6千人が参加して完成まで 摘した。

「ふるさとがえり」は、13の町が、今できていないこと、鳥取力の可能性が見えてくる。鳥取力の創造してほし、市が舞台。市民の心を一つにすることで協力や共感の輪が広がった。

発信すること  
協力や共感の  
輪が広がる

併プロジェクト」と題した自 映画を撮っている。映画「ふるさとがえり」は、13の町が、今できていないこと、鳥取力の可能性が見えてくる。鳥取力の創造してほし、市が舞台。市民の心を一つにすることで協力や共感の輪が広がった。

「絆で未来をつくる鳥取力」

福浜 今日地域づくりに取り組む皆さんが集まりました。活動を振り返りながら学んだことを持ち帰って、今後の発展に生かしていただきたい。林監督「ふるさとがえり」は本当にいい映画ですね。

林 面白い映画を作ろうと思ったわけではなく、地域の子どもからお年寄りまでいろいろな方の話を聞いて、掘り返していったら本当に普遍的なテーマにぶつかりました。

福浜 きっかけは後場の職員との出会い。魅力は何だったのですか。

林 俺についてこういうタイプではなくて、どこか控えめな人。いろんな人の話を聞いて、自分だけではできないから、みんなに話をつないでいくようなブリッジパーソンです。周りにたくさん顔が見えました。こういう人が21世紀的なり手なのかな。

福浜 近年、赤井さんが米子のキーパーソンになっていきます。米子映画事業は3日間で5万人近く訪れたそうです。関わり合います。赤井 私は高校まで米子で生活してました。子どものころ、商店街は週末ともなれば人をかき分けるような

どんどん人に話をつなぐ  
映画祭を町中で騒々しく  
人を巻き込んでネット化



野川 聡氏



林 弘樹氏



赤井 孝美氏

野川 10年度は80団体、11年度は111団体、2年間で約200団体が補助金を使って元気に活動しています。若狭鉄道の沿線で地域資源を使って活性化を図る取り組みや、浦町の鳴り石の浜プロジェクトなどがさまざまです。今年はまだ王国とつり建國イヤー。国際まんがサミット、国際まんが博を8月から11月まで行います。この補助金をどんどん使って町おこしをしてほしい。

福浜 ネギマンはこれからどう発展しますか。赤井 弓ヶ浜半島は白ネギの産地。米子映画事業のシンボルキャラクターが要るだろうと、身長40センチのネギマンを作りました。でかくて迷惑なのが現れることになって騒ぎが起きますが、実はみんな日常をちょっと壊してくれる騒ぎを求めています。今、県西部

野川 10年度は80団体、11年度は111団体、2年間で約200団体が補助金を使って元気に活動しています。若狭鉄道の沿線で地域資源を使って活性化を図る取り組みや、浦町の鳴り石の浜プロジェクトなどがさまざまです。今年はまだ王国とつり建國イヤー。国際まんがサミット、国際まんが博を8月から11月まで行います。この補助金をどんどん使って町おこしをしてほしい。

鼎談

- 出席者
- 林 弘樹氏 (映画監督)
  - 赤井孝美氏 (アニメプロデューサー)
  - 野川 聡氏 (鳥取県未来づくり推進局長)
  - コーディネーター 福浜隆宏氏 (日本海テレビアナウンサー)